

# はじめに

この記録は、平成21年中に本県で発生した災害の被害状況、及び気象状況等を収録したものです。

平成21年中に発生した災害による被害総額は、約22億円と最近の記録を遡ってみても、昭和48年の被害総額約16億円に次ぐ、災害の少ない額でありました。

またこの年は、新型インフルエンザ（H1N1）が世界的に大流行した年で、空港等で初期の検疫体制強化が図られましたが、日本国内で蔓延し、約2,000万人が医療機関を受診したといわれています。

さて、この年に発生した主な災害としては、11月10日から14日にかけての低気圧の発達による各地の大雨及び竜巻と推定される突風の発生があり、住家の一部破損や床上浸水等合わせて19棟の被害をもたらしました。

いつ起こるとも分からない災害から県土及び県民の生命・財産を守るため、県におきましては、防災行政無線の整備や各種防災訓練の実施、防災メール配信サービス及び災害監視室設置など、災害時に迅速・的確に対応できる防災体制の充実を図るとともに、県民一人ひとりが自らの命を守る防災意識や知識の普及・啓発活動に取り組んでいるところです。

これからも、宮崎県地域防災計画に基づく各種施策に対する取組として、防災機能を高める社会資本の整備や自主防災組織の活動の活性化などを積極的に行うことにより、県民及び各防災関係機関が一体となり、現在の防災体制がより強固なものとなるよう、一層努力して参りたいと考えております。

関係機関等におかれましては、本記録を、防災上の関係資料として活用していただければ幸いに存じます。

終わりに、この記録の収録に当たり御協力をいただきました宮崎地方気象台をはじめ関係機関の方々に対しまして、厚くお礼を申し上げます。

平成23年3月

宮崎県危機管理局長

甲斐 睦教